

食欲の秋、延学の秋

あるある談話、佐伯編、
今月のガクスタ！、齋藤愛也くん編

発行元



学校法人
延岡学園

延岡学園高等学校

はぎはら しゅう
COVER 萩原 終

ガクスタ 2021年 11月号 さいとう まなや 齋藤愛也くん編



「延学Style ～ガクスタ～」とは……？

延岡学園のスタイルを実践してる生徒のこと。どこか変わって、でも面白くて、物事に一生懸命で、アツくて、ノベガク生活を楽しんでいる……つまり「延学Style ～ガクスタ～」を実践してる生徒のこと。【今月のガクスタ】では、そんな生徒をご紹介します。

今月のガクスタは、先日行われた学園祭「延風祭」の実行委員長・齋藤愛也くん。コロナ禍での開催だったけど、振り返ってみれば大盛況！みんなが楽しめる延風祭にするため、全力を尽くした齋藤くんのお話です！

そもそもなぜ、文化祭実行委員長をやろうと思ったの？

「1年生の頃に初めて観た延風祭がとても楽しかったんです！ステージでのダンスがカッコ良かったり、あとは誰かが面白いことを言ったら、生徒はみんな大爆笑！でも去年はコロナで集まれなくなっちゃって。さらに昨年度は修学旅行も中止。なので延風祭だけは絶対に、以前のような楽しいものにしたい！と思い立候補しました」

実際に委員長をやってみて、苦労したことは？

「準備の時間が取れなかったことですね。自分はサッカー部に所属しているんですが、高校生活最後の大会が控えていたり、部活も疎かにしたくなって。でも、実行委員のメンバーがみんな協力的だったおかげで、大きな苦労は感じなかったです！」

ちなみに今年の延風祭のテーマは？

「『The Sky is the limit』無限の可能性です。まさに制限や制約があっても、いいものが作れるんだ、という想いを込めたテーマです」

コロナ禍での今年の延風祭、例年と比べてどう違った？

「例年、ダンスや演劇などの出し物は、体育館で生で発表するんです。でも今年は、ほとんどの演目が事前に収録した動画を流しました。臨場感



3年5組の「延学ダンスサークル」男子は女装、女子は男装をしてお披露目が好評！

ありがとう延風祭！「コロナ禍でも必ず楽しい思い出にする……！」実行委員長の、学園祭にかけた熱い想い

がなくなるかなと心配してたんですが、実際にはかなり盛り上がりつつあったね。3年生のみが体育館に集まって大きいスクリーンで視聴、1・2年生はクラスごとに教室で動画を視聴しました！



齋藤くんのクラスは何をやったの？

「イナズマイレブンのパロディで『大峽イレブン』という動画を撮りました！30分超えの大作なんです。撮影した時期はテストの前だったんですけど、先生にお願いして特別に授業時間に撮影させてもらって。ちなみに自分が主人公です（笑）」

さすがサッカー部 & 実行委員長！どんな内容？

「豪炎寺修也というエースを演じました。妹が事故に遭って以来サッカーを離れてたんですけど、チームがピンチのときに再び現われて、というストーリーです。普通にやっても面白くないので、思い切りふざけて演じました！」

写真を見たけど、みんな表情がすごく豊か（笑）。でもこれ、出演してるのはサッカー部員だけじゃないんだよね？



体育館に集まった3年生たち。最後の延風祭お疲れ様でした！

がほとんどですね。でもみんな恥ずかしがらずに演じてくれて。カメラが回った瞬間、役になりましたよ！

齋藤くんの思い切りのよさがあってこそだよ。最後に、締めのお話をお願いします！

「延風祭に関わってくれた先生方、実行委員のみんな、ありがとうございました！不安もあったんですが、終わってみたら大成功。今回も素晴らしい延風祭だったんですが、今後は徐々にコロナも収まってくると思うので、後輩たちには、来年、再来年とさらにいい延風祭を作り上げて欲しいです！」



延岡学園高等学校

NOBEOKA GAKUEN HIGH SCHOOL



公式サイト <https://nobeokagakuen-ed.jp/>



Instagram

Search nobegaku |



Twitter

@nobeokagakuen



YouTube 延岡学園 公式チャンネル

県外から延岡学園に来てくれた生徒に話を聞く今回の企画！同じ地域出身の生徒たちが、中学までを過ごした地元のローカル話で盛り上がりま～す。今回は**大分県佐伯市**！県をまたいで本校に通ってきている4人からは、一体どんなローカル話が聞けるのでしょうか！

まずは自己紹介をお願いします！

桑原「鶴見中学出身の桑原 蓮翔、調理科3年です！好きな歌手はビリー・アイリッシュです。よろしくをお願いします」



野口「城南中学出身、調理科3年の野口 優季です。藤井風さんが好きです。よろしくをお願いします」



高橋「彦陽中学から来ました！調理科2年、高橋 優真です。最近、ラウヴさんという歌手にハマっています！」



高橋「彦陽中学から来ました！調理科2年、高橋 優真です。最近、ラウヴさんという歌手にハマっています！」

河野「鶴谷中学出身、調理科1年です。河野鈴音菜です。MUSKAの『逢いたくていま』という曲が気に入っています」



みなさん調理科ですが、得意料理は？

高橋「僕は将来、製菓に進みたいと思っているのでお菓子づくりを頑張っています！」

「お洒落ですね。正直に教えてください、なんでスイーツを勉強したいの？女子にモテたいからでしょ？」

高橋「違いますよ（笑）スイーツって繊細で、少しでも分量を間違えたらダメだし、飾り付けも単純だけど奥が深くて」

「安易にいじったつもりがメチャクチャちゃんとしてる！失礼しました。」

一同「（笑）」

野口「私はカンパチのパイ包みですね。先輩が生み出して、それを受け継

あろあろ 同郷 談話

～佐伯エリア編～

延岡学園に来た佐伯エリア出身の生徒たちがローカル話で盛り上がる企画です！

「いだしレシピです！」
「魚のパイ包みですか！アニメなんかでは見たことあるけど実際に食べたことないかも。」

ところで、いろいろな学校がある中で、みなさんはなぜ延岡学園を選んだんですか？

桑原「小さい頃から料理人になりたいと思っていて。延岡学園のオープンスクールに来てみたら、料理のレベルが他の学校より高かったんですよ！」

高橋「僕も同じですね、大分県内にも調理科のある学校はありますけど、延岡学園のオープンスクールで見た料理が一番すごかったよね」

河野「私は料理をするのが大好きなので、とにかく調理科のある学校に行きたかったんです。中学の先生から延岡学園のことを聞いて、決めました！」

野口「私もオープンスクールが決め手。オムレツづくりの講座に参加したとき、先輩が優しくして。設備も整ってるし、雰囲気も素敵だったので選びました」

佐伯市のことを教えてください！お祭りや思い出の場所がありますか？

桑原「『さいき春祭り！』そこで毎年、1人でスパー戦隊の格好した男の人を見かけるんですよ。僕らの間で『佐伯のキムタク』って言われてるんですけど」

高橋「髪の毛が腰くらいまである超ロング毛で。赤いスーツにヘルメット」いやでも、キムタクはそんな格好してないでしょ（笑）

野口「合格をもらえるまで、12時間くらいかかるんですよ。それを鏡みたいになるまで研がないと、合格がもらえない！」

「我が家の包丁、結構錆びてるんですけど、やっぱり怒られちゃいますか？」

桑原「錆びてるのはヤバイです！『包丁の輝き』やる気」なので！錆びてたら、やる気がないと思われちゃいます！」

「すぐ研ぎます！12時間！！一同（笑）」

後輩にアドバイスはありますか？

桑原「勉強は、やった方がいいよね」

高橋「うん、勉強をちゃんとしてください！高校に入ってから専門教科が多いので、中学のうちに基礎を固めておくとか」

河野「生活面では、早起きの習慣をつけるとか、生活のリズムを整えておくということです！私は学校が遠いから、いつも5時半起きなので」

野口「あとは、コミュニケーション能力かな。県外からの進学だと、アウェイな状況から始まるので……思い切り踏み込めるような心の準備をしておくと思います！」

「ところで高橋くん、そのメガネは伊達メガネですよ、どうして？」

高橋「はい。女子に似合うって言われたからメガネにしています」

「結局女子ウケ気にしてるじゃないですか。最初に話したスイーツについての真面目なくだりが台無し！」

高橋「顔が残念なキムタクっていうか。前回の祭りの時には、警察に職務質問された（笑）」

「みんなその人知ってますか？」

河野「はい」

野口「見かけたことありますよ。佐伯ではわりと有名だと思います！」

高橋「僕の地域には、ジョーヤラ船という船があるんですよ。頭を振って『ジョーヤラジョーヤラ』っていいながら漕ぐんです。しかも、赤い腹巻の金太郎の格好です（笑）」

「中学生が、金太郎の格好をするんですか！」

野口「私は小学校の頃にやった、鼓笛隊が印象に残ってますね。神社から小学校のグラウンドまで演奏しながら歩く行事です」

河野「私は小3まで大入島という島に住んでたんです。小学生の人数が少ないから、他の学校との交流がいっぱいあって楽しかったです」

桑原「あと、鶴見地区には豊漁祭っていうのがあって、みんなでソーラン節を……あ、ソーラン節ってわかりますか？」

「馬鹿にされてる……？（笑）知ってますよ！」

桑原「失礼（笑）。自分の学校はソーラン節をガチでやってて、お祭りの時にはみんなで踊りましたね！」

佐伯は食も豊富ですよ。

佐伯のソウルフードといえば？

高橋「やせうまが好きですね。きな粉をまぶした、長い餅みたいな」

